



モスバリア
ジュニア
ジュニアII



設置方法

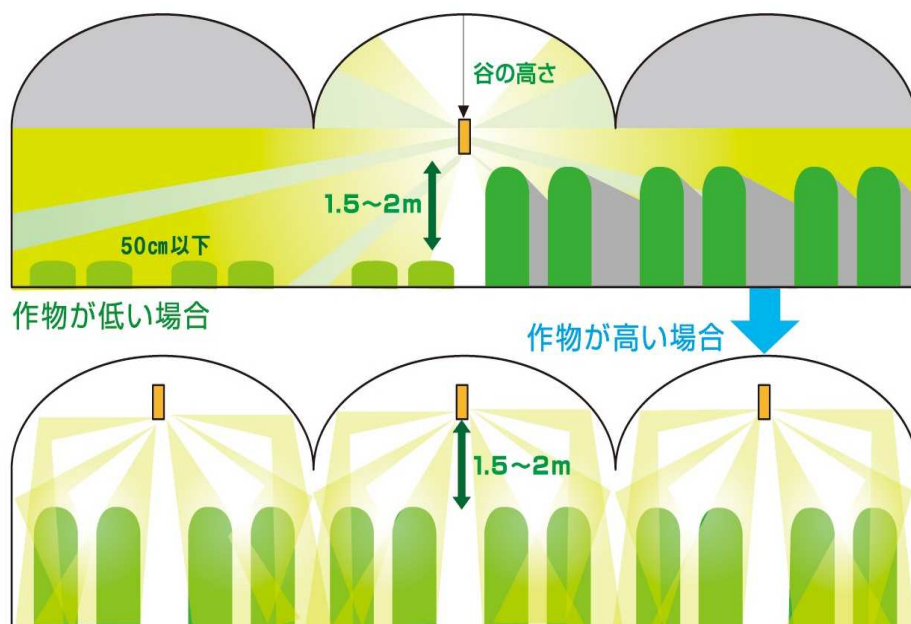
温室・補助灯・露地用

株式会社ゼロビーム
岡山県備前市麻宇那926-3
☎0869-67-2424 FAX0869-67-2425
Email info@zerobeam.jp

[設置方法]

ハウスの設置方法

ハウスの幅と高さ、作物の高さを勘案し機種を選定ください。
吊り下げ金具がついており、吊り下げてご使用できます。



設置位置

単棟、連棟では均等に光が届くよう中心に設置してください。
作物高が高く連棟の場合、上記のように影が多く被害が発生する場合があります。
その場合は各棟毎に設置する必要があります。

設置の高さ

作物から1m以上上に設置してください。
(最高に成長した作物高を基準)

タイマー

タイマーは付いていません。
付けてください。



露地で使用する場合

以下にご注意ください。

モスバリアジュニア・ジュニアⅡの中心は四角形の空洞です。

LEDの放熱のために必要な空間です。必ず空洞にしておいてください。

対角線上に金属板を通すことは放熱の助けになり問題はありませんが、パイプや棒を差し込むと、電子部品が故障する場合があります。

特に防蚊灯の使用頻度の高い夏季は、高熱になり危険です。

そのような設置方法は絶対にしないでください。

低位置に設置する方法

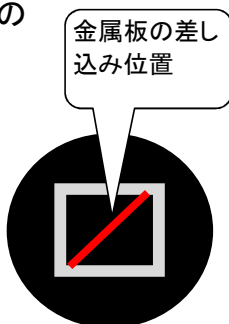
図のような金具をつくり

地中に1m以上埋める。

モスバリアジュニア・ジュニアⅡの底面に金具を差し込む。



金具



モスバリアジュニアの底面

差し込金属板(赤色部分)の長さは製品の3分の1以上にする



高い位置に設置する方法

単管を使用して任意の高さに設置する

例) 単管で約4mの高さに設置する場合

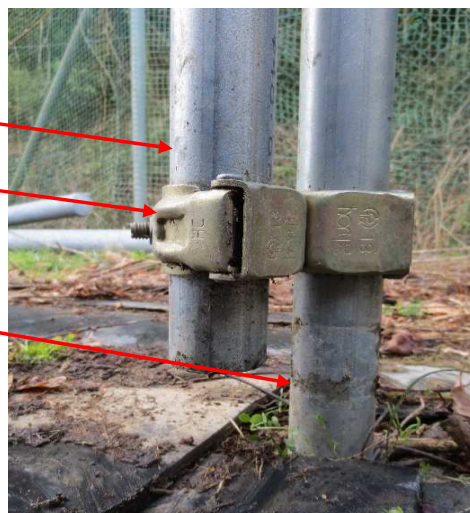
設置に必要な部材

- 単管 $\Phi 48.6\text{mm}$ 長さ2mまたは・3mの単管(設置したい高さに応じて選定)
- 支柱用の $\Phi 48.6\text{mm}$ 長さ2mの単管
- $\Phi 48.6\text{mm}$ 用クランプ 2個
- キャップタイヤ-PNCT1.25SQ(延長用)

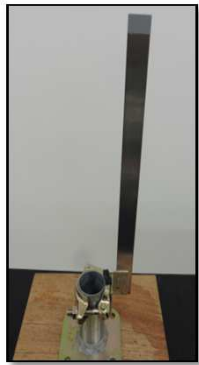
$\Phi 48.6\text{mm}$ 単管
 $\Phi 48.6\text{mm}$ 用クランプ
支柱用単管の上下に2個付ける



支柱用の $\Phi 48.6\text{mm}$ 長さ2mの単管
単管の場合は打込座金と先端ミサイルを付けて使用する



取り付け方法
別売り専用金具を利用した場合



板をジュニアIIの真ん中に差しこむ



単管を差し込み、キャップを付ける

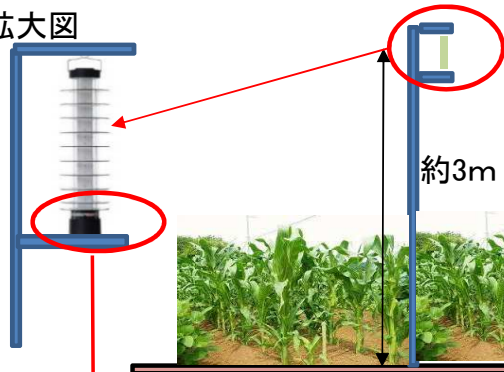


単管を使用して任意の高さに設置する



その他 取付方法

拡大図



上部は束線バンド(耐候性)でしっかり結束し、風で外れないようにする
横パイプに垂木止めクランプを付ける
金属板は中心の四角形の空洞に

拡大図

下部の金具



市販の垂木止めクランプ



単管に取り付け



市販の部材でカバーを貼付(赤の部分)
モスバリアの損傷防止のため

下から差し込んで設置した事例
 設置機種 モスバリアジュニア
 同様に設置可能
 ※金具は防蟻灯の長さの3分の1
 以上にすること



電源配線

- ①キャブタイヤで必要なところまで配線する。
- ②ペットボトルを使用して、防水対策をする
 必要なもの 500mlのペットボトル 1本
 結束バンド 2本
- ③単管にペットボトルを逆さにして
 結束バンドで取り付ける。
- ④コネクタ部分はビニールテープを巻いて、
 ペットボトルに差し込む。
 挿入口は小さくして、雨水が入らないようにする。



- ⑤コンセント部の防水はボックスやペットボトルで漏電が無いようにする
 市販の配線ボックス
 利用した場合



タイマーを外付けで設置をしてください。

露地で使用の場合、タイマーに雨がかからないよう設置してください。

昼間、黄色に誘引される害虫がいます。(羽アブラムシ等)

昼間は点灯しないでください。

明るさセンサー付きのタイマーはモスバリアの光が当たるところにはつけないでください。

モスバリアジュニアが点灯すると、センサーが昼間と判断し消灯

暗くなるとセンサーが夜と判断し点灯する誤作動を繰り返します。(点滅を繰り返す)



必ずアース工事をしてください

モスバリアが原因不明で故障したとの報告事例が多発しています。
 サージ電圧で内蔵ヒューズ切れ、電子部品の故障、LED部の破損等が発生します。
 近くで雷鳴がなくても、電線を伝わってくる高電圧の電流(雷サージ電流)が発生します。
 雷被害は自然災害で、保証期間内でも修理費が発生します。
 修理不可の場合、故障で修理費用、送料、無点灯によるヤガ被害が発生します。
 故障を防止のため、以下の雷対策を確実に施工してください。

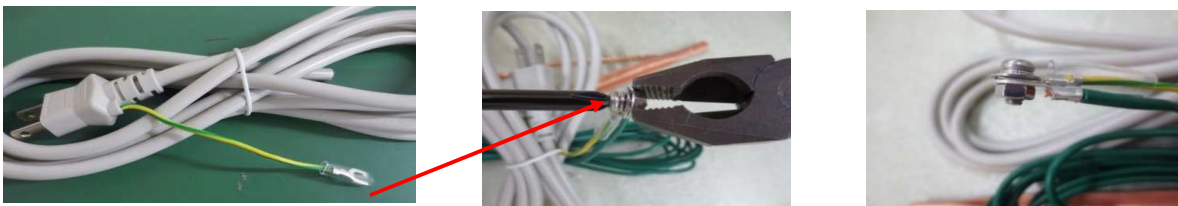
コンセントのアース工事

(1) アース線とアース棒を用意し、以下の準備をする。

- ①アース線棒の地上に出るところにアース端子を圧着する。
- ②アース線を必要な長さに切り、先端にビスか端子を付ける。



(2) アース線にコンセントのアースを接続する。

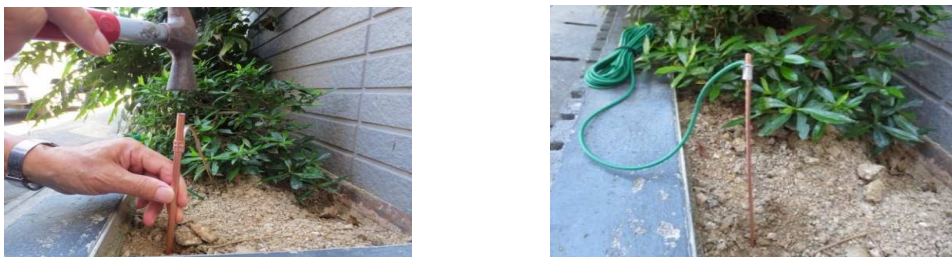


コンセントとアース線

②のビスにアース線を止め付ける

(3) アース棒を地中に打ち込む

放電効果があるように、湿った所を選んで、アース棒全体を地中に金槌で打込む。
 アース棒は接地面が広いほど放電効果があるため、全体を地中に埋め込む。



地上部分

ハウス内を舗装している場合

骨組パイプや鉄骨等にアースをとる(ビス止め・金具)か、外に出して地中に埋める。

**注:アースを巻きつける・結ぶ等は密着度が不足し、放電の役目をしません。
 雷が直撃した場合は、防げない場合もありますが、アース工事で最小限に留められます。**